

# 成長につなぐ

— 事例17ゴールズ&169ターゲット

## 大森機械工業

大森機械工業（埼玉県越谷市、大森利夫社長）は、プラスチック製フィルムを熱で接착する「ホットシール式」の食品トレー用包装機「トレラック」を開発し、顧客の需要を捉え、環境意識の高まり、プラスチックによる海洋汚染が問題となる中、環境意識の高い顧客の需要を取り込む。



紙包装に対応した製品セラインアップ

トレラックは、食肉や野菜などをトレーに載せ、ストレッチフィルムで包装する機械。同社の主力製品の一つで、スーパーマーケットや食品メーカー向けに年間200台超を出荷している。従来はフィルムを下からプロワーで吸い込み、トレ

## 食品トレー包装機 フィルム使用量3割減



プラスチック製フィルムの使用量を3割削減できる食品トレー用包装機

「底面に折り込む方式を用いており、フィルムに無駄が生じていた。国連の持続可能な開発目標（SDGs）達成に向けて少しでもプラスチック使用量を削減したい」（水巻善一）取締役上級執行役員技術生産部長との思いからSTEシリーズの開発に着手した。同シリーズではヒートシール式によりフィルムの無駄を削減。また、プロワーを使用しないため従来機より稼働音

を2割低減でき、消費電力削減にもつながる。ヒートシール式のトレラックは業界初という。2019年の展示会で発表し、今春に食品メーカー2社に計2台納入した。今後は既存顧客である大手スーパーマーケットを中心に入れ替え需要を狙い、将来的にヒートシール式に移行させたい。（水巻取締役）考え。また、包装能力を現行の1分当たり60パックから80パックに向上させた高速機の開発を進めている。国内で販売実績を